

新しい生活様式の定着に向けた鹿児島県の取組

令和2年5月14日

新型コロナウイルスの存在を前提にしながら、
日常の生活を取り戻す！

基本的な感染対策を継続しながら、社会経済活動を維持する

新しい生活様式の徹底を推進する。

1 県民の皆様へのお願い

- ① 不要不急の帰省や旅行など、都道府県をまたいで移動することは、当分の間、避けてください。
- ② 外出については、「感染防止対策が徹底できていないなど、クラスター発生のおそれが高い施設」や「三つの密（密閉、密集、密接）のある場」を徹底的に避けるとともに、手洗いや人と人との距離の確保などの基本的な感染対策を継続するという、感染拡大を予防する新しい生活様式【別添1】を徹底してください。

2 県外の皆様へのお願い

- ① 不要不急の帰省や旅行などによる来県を、当分の間、自粛してください。
- ② やむを得ず来県された場合は、下記のような感染拡大防止対策をお願いします。
 - ・ 来県後2週間の不要不急の外出自粛
 - ・ マスク着用など咳エチケットの徹底
 - ・ 毎日の体温測定の徹底
 - ・ 発熱等の症状が出たら、帰国者・接触者相談センターへ相談

3 事業者の皆様へのお願い

- ① 繁華街の接待を伴う飲食店（キャバレー，ナイトクラブ，ダンスホール，スナック，バー，パブ），性風俗店，カラオケボックス，ライブハウスについては，「三つの密」が発生しやすいことから，感染防止対策の徹底を条件に，5月15日（金）から，休業要請を解除します。
- ② ①以外の各業種・施設においては，【別添2】を参考に，積極的な感染防止の取組をお願いします。
- ③ ホテル・旅館等の宿泊施設においては，5月31日（日）までの間，県外からの観光・レジャーなど不要不急の宿泊予約について，延期等日程変更の調整に御協力をお願いします。
- ④ 多数の方が参加する全国的なイベントの開催を控えてください。
その他の場合でも，リスクへの対応が整わない場合は，中止又は延期してください。
- ⑤ 職場においては，在宅勤務（テレワーク），時差出勤，自転車通勤など，人との接触を低減する取組を推進するなど，『三つの密』を避ける行動を徹底するとともに，感染防止のための取組（手洗いや手指消毒，咳エチケット，事業場の換気励行，複数人が触る箇所の消毒，発熱等の症状が見られる従業員の出勤自粛，出張による従業員の移動を減らすためのテレビ会議活用等）をお願いします。

4 県立学校等について

学校については、ゴールデンウィーク終了から概ね2週間を「警戒期間」ととらえ、5月24日（日）までの期間は、引き続き、各学校の状況に応じて、空き教室等を利用して児童生徒同士の距離を確保するなどの感染防止対策を講じた上で教育活動を行っていただくよう、御協力をお願いします。

5 県の公共施設について

現在休館等している離島にある県の公共施設については、5月15日（金）から開館します。

なお、当分の間、宿泊施設については県内居住者の利用に限ります。

6 感染者、医療従事者等への差別、偏見等防止のお願い

感染者やその家族、治療にあたった医療機関とその関係者、その他関わりがあった方々に対して、不当な差別や偏見、いじめ等が行われないう、正確な情報に基づいた冷静な行動をお願いします。

【別添1】

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

日々の暮らしの感染対策

- ・外出は、マスクを着用する。遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- ・人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- ・会話をする際は、可能な限り対面を避ける。
- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ・帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- ・発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモしたり、スマホの移動履歴をオンにする。
- ・地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝家族で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養
- 屋内や会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- ・通販も利用
- ・1人または少人数ですいた時間に
- ・電子決済の利用
- ・計画をたてて素早く済ます
- ・サンプルなど展示品への接触は控えめに
- ・レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- ・会話は控えめに
- ・混んでいる時間帯は避けて
- ・徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- ・公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ・筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ・ジョギングは少人数で
- ・すれ違うときは距離をとるマナー
- ・予約制を利用してゆったりと
- ・狭い部屋での長居は無用
- ・歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- ・持ち帰りや出前、デリバリーも
- ・屋外空間で気持ちよく
- ・大皿は避けて、料理は個々に
- ・対面ではなく横並びで座ろう
- ・料理に集中、おしゃべりは控えめに
- ・お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- ・多人数での会食は避けて
- ・発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定